

【 2023 年度事業報告 】

自 2023 年 4 月 1 日

至 2024 年 3 月 31 日

概 要

2023 年度の日本経済は、新型コロナウイルス感染症の位置づけが 5 類へ移行したことによって行動制限が解除され大幅な経済環境の改善があった。また、35 年振りの円安は輸出産業の収益向上に追い風となり日経平均株価はバブル期の最高値を更新し、好調な決算を背景に大企業では大幅な賃上げが発表された。

コロナ期の自動車産業は、半導体不足などの部品不足問題により受注調整などにより販売数が低迷したが、この問題が解消し 2023 年度は大幅な生産台数の回復があり、コロナ前の 2019 年度の水準に回復した。電子部品の 2023 年の販売は年間を通じて低迷した。半導体不足の解消で自動車の挽回生産が進み、車載用電子部品は比較的堅調だったが、民生・産業機器向けの需要が振るわなかった。特に中国経済の想定以上の悪化や、産機市場での在庫調整の長期化が響いた。

2022 年に急騰した企業物価は高止まりし会員企業の収益負担は増加したままである。さらに輸送業・建設業における 2024 年問題やマイナス金利政策の転換が、今後収益の下押し要因となると予想され厳しい環境が継続すると予想される。

そうした中で、2023 年度の当会の事業活動はほぼコロナ前の状態へ回復した。定時総会、理事会、委員会は基本的に対面で行い、効率性を考慮してオンラインでの開催が適宜行われた。表面処理資機材生産・販売統計調査検討会、経営研修会、三部会交流会は対面で開催し、会員同士の有意義な交流の場を持つことができた。SURTECH 2024 (1 月 31 日～2 月 2 日；東京ビックサイト東 3 ホール) では前年度比で 3 割増の来場者があり、コンセプトゾーン内での小規模展示及び講演会の実施など、新たな取り組みによって活況を呈し、次年度への大きな期待を抱かせる状況となった。

- ・ 理事会を 7 回開催し、主要な事業について審議した。ウィズコロナの方針のもと各事業の対面での開催を決定し活性化に寄与した。

委員会の主な活動の概要は次の通りであった。

- ・ 総務委員会を 6 回開催した。各部会と共同で表面処理資機材の生産・販売動向を調査し、調査内容を統計検討会で発表し機材工誌 2023 年秋季号に掲載した。11 月に経営研修会を開催し株式会社東新工業いわき四倉工場を見学し機材工誌 2024 年冬季号で報告した。3 月に三部会交流会を設備部会、薬品部会、環境部会と共同で行い、熊王斉子氏 (島村法律会計事務所) の講演と懇親会を行い機材工誌 2024 年春季号で報告した。

- ・ 技術委員会を 6 回開催した。10 月に地方独立行政法人東京都立産業技術研究センターを青年会と共に 8 名で訪問し湿式表面処理に関する技術の動向について見学と討議を行い、機材工誌 2024 年冬季号で報告した。SURTECH2024 と同時開催の「新製品・新技術発表講演大会 (1 月 31 日)」では、10 件の講演をコンセプトゾーン横の特設会場で行い、21 名 (アンケート数) が受講した。

- ・ 環境対策委員会を 5 回開催した。SURTECH 2024 と同日開催の「環境セミナー (2 月 1 日)」では、40 名 (アンケート数) が受講した。

- ・ 国際委員会を 2 回開催し海外視察案を検討した。視察の実施は 2024 年に持ち越した。

- ・ 情報委員会を 5 回開催した。技術手帳の製作販売 (5,850 冊) と機材工誌を発行した。機材工誌は前年からめっき加工業者に無料配布を開始し良好な評判を得ている。SURTECH 2024 ではコンセプトゾーンで SDGs の取り組みをパネルとモニターを用いて展示した。コンセプトゾーン内に機材工会員出展ブースを設け 7 社 12 ブースの出展があった。

- ・ 青年会を 2 回開催した。SURTECH 2024 と同時開催の「なぜなぜシリーズ第 17 弾 (2 月 2 日)」では、5 件の講演を行い 42 名 (アンケート数) の受講があった。当初計画した研修会は次年度に持ち越した。

部会の主な活動の概要は次の通りであった。

- ・ 設備部会は、販売統計調査を 6 月から開始し、8 月に中間報告としてまとめ、9 月の販売動態検討会で報告した。部会を 8 月と 11 月秋季研修会、3 月三部会交流会の 3 回行った。生産性向上要件証明書の認証に 5 名の委員で審査に協力した。

- ・ 薬品部会は、薬品統計調査分科会を7月に行った。8月に薬品部会を行い、(1)令和4年度薬品生産動態集計結果、(2)同部会収支決算報告、(3)各委員会報告、(4)各社各人情報交換を行った。3月の三部会交流会では委員会の状況報告、近況報告を行った。
- ・ 環境部会は、例会を9月と3月に対面で開催した。第1回例会では、環境設備動態調査と事業活動報告について報告した。第2回例会は、2023年活動報告、2024年事業計画、SURTECH2024の報告と共有を行った。

表面処理団体協議会の活動概要は次の通りであった。

表団協の幹事は日本表面処理機材工業会が行い、表団協運営委員会を4回開催した。第40回代表者会議(7月24日)、第21回産官学情報交換会(11月16日)、第32回表団協セミナー(2月2日)を行った。

1. 総会

◇ 定時総会

日時：2023年6月2日(金) 16時00分～16時40分

場所：アルカディア市ヶ谷4階 鳳凰 東京都千代田区九段北4-2-25

出席会員数	総会員数	60名	
	出席会員数	48名	
	内訳)	本人出席	14名
		委任状による代理出席	8名
		白紙又は議長委任状	19名
		議決権行使書	7名
	総会員の議決権数	60個	
	出席会員の議決権数	48個	

議長 代表理事(会長) 後藤 邦之

出席役員	理事	後藤 邦之	理事	中川 武
	理事	山本 渡	理事	野坂 秀夫
	理事	石田 俊一	理事	梅田 輝幸
	理事	中村 博	理事	橋沢 憲一
	理事	橋本ひろみ	理事	柳澤 英二
	理事	山口伸一郎	理事	稲田 晴喜
	理事	関谷 勉	理事	古橋 勝美
	理事	村田 隆嗣	理事	柳下 宙士
	監事	井上 繁		

(1) 開 会

定刻に司会者の山口伸一郎総務委員長は2023年度定時総会を開催する旨を宣し、後藤邦之会長の挨拶ののち、定時総会の出席者が定款第17条に定める議決権を有する構成員数の2分の1以上であり、定時総会が有効に成立したことを報告した。

(2) 議長選出

司会者は定款第15条の定めにより後藤邦之会長を本定時総会の議長とする旨を宣し、後藤邦之会長は、これを了承し議長となった。

(3) 議事録署名人選出

議長は、議案審議に先立ち、議事録署名人2名について中川 武副会長および山本 渡副会長を指名し両氏もこれを承諾した。

(4) 議 事

第1号議案 2022年度事業報告及び2022年度収支決算の承認を求める件

議長は、稲田晴喜総務委員に2022年度における事業の状況を事業報告書、収支決算の状況を収支決算書により詳細に説明させた。

次いで、井上監事は、これらの書類を綿密に調査したところ、いずれも正確かつ適正であることを認めた旨を報告した。

これを議場に諮ったところ、定時総会出席者は、別段の異議なく第1号議案を承認した。

第2号議案 2023年度事業計画及び2023年度収支予算書類の承認を求める件

議長は、望月事務局長に2023年度における事業計画を事業計画書(案)、収支予算を収支予算書(案)により詳細に説明させた。

これを議場に諮ったところ、定時総会出席者は、別段の異議なく第2号議案を承認した。

第3号議案 新理事、新監事選出の件

議長は、役員候補者について稲田晴喜総務委員に説明させた。議長は、予め提出された議決権行使書等の書面で役員候補者全員が過半数の賛成を得ていることから、定款17条3項の定めにより役員候補者を一括して決議することを議場に諮り、議場の出席者から賛意が示されたので一括で決議することを宣し議場に諮ったところ、定時総会出席者は、別段の異議なく第3号議案を承認した。

理事	稲田 晴喜	富士電機工業(株)	犬塚 太門	ユケン工業(株)
	梅田 輝幸	ミナモト電機(株)	遠藤 憲雄	富士化学工業(株)
	岡本 博司	(株)三社電機製作所	落合 一男	日本化学工業(株)
	後藤 邦之	(株)中央製作所	澤村 宏	日本カニゼン
	嶋本 一成	ディップソール(株)	関谷 勉	上村工業(株)
	中川 武	中川化学装置(株)	中村 博	(株)電測
	野坂 秀夫	(株)野坂電機	橋沢 憲一	(株)ハンザワ
	橋爪 淑浩	サンライト(株)	橋本ひろみ	日本フィルター(株)
	東田充雄	奥野製薬工業(株)	古橋 勝美	メルテックス(株)
	村田 隆嗣	(株)ムラタ	森 涉	(株)ワールドケミカル
	柳下 宙士	(株)三進製作所	柳澤 英二	日本化学産業(株)
	山口伸一郎	(株)タイホー	山本 渡	(株)山本鍍金試験器
監事	井上 繁	(株)キザイ	鈴木 勝夫	伸栄化学産業(株)

(5) 閉 会

以上をもって、一般社団法人 日本表面処理機材工業会2023年度定時総会の議事をすべて終了したので、議長は議場にその協力を謝し、司会者は閉会を宣言した。

2. 理事会

◇ 第1回 理事会

日 時：5月16日(火) 10時30分～11時25分

場 所：Web会議 出 席：理事19名、監事2名

議 題

理事会に先立ち、オンライン出席者の通信状況を確認し、理事会を行うにふさわしい通信状況が出来ていることを事務局が確認した。定刻に野坂専務理事は、2023年度第1回理事会を開催する旨を宣し、構成員24名中19名が出席し、定足数を満たし本理事会が成立したことを報告した。

続いて後藤会長が議長となり、開会の挨拶を行い議事の審議に入った。

<審議事項>

第1号議案 定時総会の開催方法について

議長は、定時総会の開催方法について事務局に説明させ、議場に諮ったところ異議無く承認された。

第2号議案 2022年度事業報告及び2022年度収支決算書承認の件

議長は、2022年度事業報告及び2022年度収支決算書について説明させ、さらに監事により事業報告

及び計算書類は適正に処理されている旨報告を受けていることを説明させ、議場に諮ったところ異議無く承認された。

第3号議案 2023年度事業計画及び2023年度収支予算承認の件

議長は、2023年度事業計画及び2023年度収支予算について、事務局に説明させ、議場に諮ったところ異議無く承認された。

第4号議案 2023年度新役員選出について

議長は、役員候補者推薦委員会で選出された2023年度新役員候補者（案）について事務局に説明させ、議場に諮ったところ異議無く承認された。

第5号議案 2023年度功労者表彰について

議長は、表彰審査委員会にて選出された、功労者について、議場に諮ったところ異議無く承認された。定時総会において功労者として表彰される。

石田 俊一氏 表彰規定「役員として4期8年以上就任して退任」に該当

岩澤 裕之氏 表彰規定「委員長として、連続して2期4年以上就任し、退任する者」に該当

第6号議案 2023年度部会長、委員長選出の件

議長は、2023年度部会長及び委員長の候補者について、議場に諮ったところ異議無く承認された。定時総会において委嘱状を授与される。

薬品部会長 遠藤 憲雄氏 各部会において候補者を選出し理事会に諮り会長が委嘱する。

技術委員長 山口伸一郎氏 理事会において選出し、会長が委嘱する。

<報告事項>

委員会、部会、表面処理団体協議会の活動状況の報告があった。

以上をもって、一般社団法人日本表面処理機材工業会2023年度第1回理事会を終了したので、議長は議場にその協力を謝し閉会を宣言した。

◇ 第2回 理事会

日時：6月2日（金）16時40分～16時55分

方法：アルカディア市ヶ谷4階「飛鳥」 出席者：理事18名 監事1名

議 題

定刻に野坂理事は、2023年度第2回理事会を開催する旨を宣し、構成員24名中18名が出席し、定足数を満たし本理事会が成立したことを報告した。

引き続き野坂理事が議長となることを宣し議事の審議に入った。

<審議事項>

第1号議案 新役員の担当職務について

議長は、新役員の担当職務について説明し、議場に諮ったところ異議無く承認された。

会 長： 後藤 邦之

副会長： 中川 武、山本 渡

専務理事： 野坂 秀夫

常任理事： 梅田 輝幸、遠藤 憲雄、中村 博、橋沢 憲一、橋本ひろみ、柳澤 英二、山口伸一郎

理 事： 稲田 晴喜、犬塚 太門、岡本 博司、落合 一男、澤村 宏、嶋本 一成、関谷 勉

橋爪 淑浩、東田 充雄、古橋 勝美、村田 隆嗣、森 涉、柳下 宙士

監 事： 井上 繁、鈴木 勝夫

以上をもって、一般社団法人日本表面処理機材工業会2023年度第2回理事会を終了したので、議長は議場にその協力を謝し閉会を宣言した。上記の議決を明確にするため、議長及び議事録署名人は次に署名捺印する。

◇ 第3回 理事会

日時：7月25日（火）10時30分～11時30分

場所：Web会議 出席：理事16名、監事2名

議 題

<審議事項>

第1号議案 普通賛助会員入会の件

議長は、日本鴻利株式会社が普通賛助会員として入会を希望する件につき事務局に説明させ、議場に諮ったところ異議無く承認された。

第2号議案 経営研修会の件

議長は、総務委員会で検討されている 2023 年度経営研修会について事務局に説明させ、議場に諮ったところ下記の事項が承認された。

- ・研修会の訪問先は、東新工業株式会社四倉工場とする
- ・交通は、バス・電車などの利用を検討する
- ・開催日は、11月17日(金)とする
- ・参加人数の上限は40名とする
- ・第5回 理事会を11月9日(木)に実施し会食を行う

第3号議案 表面処理技術要素展 2024 の出展の件

議長は、表面技術要素展 2024 においてコンセプトゾーンにて行われる「機材工会員出展ブース」の概要について事務局に説明させ、これを機材工事業として進めたいとの情報委員会の要望について議場に諮ったところ異議無く承認された。

<報告事項>

事務局から役員登記の問題及びサーテック 2024 で行う講演会の実施計画概要の説明があった。その後、委員会、部会、表面処理団体協議会の活動状況の報告があった。

以上をもって、一般社団法人日本表面処理機材工業会 2023 年度第3回理事会を終了したので、議長は議場にその協力を謝し閉会を宣言した。

◇ 第4回 理事会

日時：2023年9月26日(火) 10時30分～11時25分

場所：Web 会議 出席：理事17名、監事2名

議題

<審議事項>

第1号議案 表面技術協会 将来めっき技術検討部会 第54回例会 協賛依頼

議長は、表面技術協会の協賛依頼について、協賛実績があり費用負担が無いことを説明し議場に諮ったところ異議なく承認された。

第2号議案 SURTECH2024 講演会及び機材工展示ブース実施要領について

議長は、SURTECH2024 開催時に行う講演会と機材工展示ブース実施要領について、事務局に説明させ議場に諮ったところ以下の条件を満たすことを条件として承認された。

- ・機材工講演会場の設営および備品に要する費用は例年会議棟で行う費用と同等以下であること
- ・コンセプトゾーンで行うミニブース展示の参加費の8%を機材工の手数料収益とすること

<報告事項>

事務局、委員会から下記の報告があった。

- ・Surface Technology Germany 2024 の Japan Pavilion 企画への対応について
- ・経営研修会(11月17日)の応募状況
- ・第5回 理事会と懇親会(11月9日)の実施案について
- ・SURTECH2024 ミニブースの応募状況について
- ・2023年度 第1回 会長および専務理事の職務執行状況報告について
- ・委員会および部会活動状況

◇ 第5回 理事会

日時：2023年11月9日(木) 16時00分～17時00分

場所：アルカディア市ヶ谷5階 穂高(西)

出席：理事18名、監事2名

議題

<審議事項>

第1号議案 定款の変更

議長は、定款の変更の目的と内容について事務局に説明させて議場に諮ったところ、役員が任期途中に選任された場合、その役員の任期は他の役員の残存期間と同一とすることを定款第24条3項として書き加えることが異議無く承認された。3項の内容は司法書士事務所による確認を得るものとする。

<報告事項>

委員会、部会、事務局から下記の報告があった。

- ・委員会及び部会の活動状況
- ・表団協 第21回全体会議 産官学情報交換会開催要領と資料紹介
- ・経営研修会(11月17日)について
- ・機材工会員出展ブース(ミニブース)のレイアウトについて
- ・新製品・新技術講演会の発表件数促進のお願い
- ・三部会交流会は2024年3月15日(金)、アルカディア市ヶ谷にて実施

次回、第6回理事会は2024年1月25日（木）午前中にハイブリッド形式で行う。
以上をもって、一般社団法人日本表面処理機材工業会2023年度第5回理事会を終了したので、議長は議場にその協力を謝し閉会を宣言した。

◇ 第6回理事会

日時：2024年1月25日（木）10時30分～11時30分

場所：ハイブリッド 出席：理事13名、監事1名

議題：

定刻に野坂専務理事は、2023年度第6回理事会を開催する旨を宣し、構成員24名中13名が出席し、定足数を満たし本理事会が成立したことを報告した。

続いて後藤会長が議長となり、開会の挨拶を行い議事の審議に入った。

<審議事項>

第1号議案 電子機器トータルソリューション展2024 協賛名義使用について

議長は、電子機器トータルソリューション展2024 協賛名義使用依頼について、事務局に説明させて議場に諮ったところ、費用負担が無く協賛実績があることから異議無く承認された。

第2号議案 定款変更について

定款第23条役員の任期に関して、任期途中で補欠又は増員により新たに選出された理事及び監事の任期について事務局に説明させ議場に諮ったところ異議無く承認された。定款第23条に以下の3項と4項を加える。

3 任期満了前に退任した理事の補欠として、又は増員により選任された理事の任期は、前任者又は他の在任理事の任期の残存期間と同一とする。

4 任期満了前に退任した監事の補欠として選任された監事の任期は、前任者の任期の残存期間と同一とする。

<報告事項>

委員会、部会、事務局から事業報告があった。

次回、第7回理事会は2024年3月下旬に開催するとして予定を各役員に伺うこととする。

以上をもって、一般社団法人日本表面処理機材工業会2023年度第6回理事会を終了したので、議長は議場にその協力を謝し閉会を宣言した。

◇ 第7回 理事会

日時：2024年3月22日（金）10時30分～11時35分

場所：Web会議 出席：理事13名、監事1名

議題：

定刻に野坂専務理事は、2023年度第7回理事会を開催する旨を宣し、構成員23名中13名が出席し、定足数を満たし本理事会が成立したことを報告した。

続いて後藤会長が議長となり、開会の挨拶を行い議事の審議に入った。

<審議事項>

第1号議案 協賛名義使用について

議長は、エヌプラス2024及び表面技術協会将来めっき技術検討部会第56回例会の協賛名義使用依頼について、事務局に説明させて議場に諮ったところ、費用負担が無く協賛実績があることから異議無く承認された。

第2号議案 定時総会の実施方法について

議長は、2024年度定時総会及び懇親会の開催日程と開催場所、決議方法と議案について事務局に説明させ議場に諮ったところ異議無く承認された。

（決議事項）定時総会は6月7日（金）16時00分～17時00分、アルカディア市ヶ谷にて開催する。懇親会は総会に引き続いて17時00分～19時00分に同じくアルカディア市ヶ谷にて開催する。決議方法は、総会出席、委任状、議決権行使書とする。

議案は、第1号議案 令和5年度事業報告及び令和5年度決算報告、監査報告、第2号議案 令和6年度事業計画（案）及び令和6年度収支予算（案）、第3号議案 定款改定 第23条（役員の任期）とする。

第3号議案 2024年度概算予算について

議長は、2024年度概算予算について事務局に説明させ議場に諮ったところ異議無く承認された。

（決議事項）2024年度の予算は2023年度の予算とほぼ同じ△742千円程度の赤字を許容し策定する。

第4号議案 事務局職員（嘱託社員）雇用契約更新について

議長は事務局職員（嘱託社員）の2024年度の雇用契約更新について、事務局に説明させ議場に諮ったところ異議無く承認された。

<報告事項>

委員会、部会、事務局から事業報告があった。

- ・2023年度第2回会長及び専務理事の職務執行状況報告
- ・2024年度機材工カレンダー
- ・SURTECH2024実施状況報告
- ・三部会交流会報告
- ・役員退任者について3月末時点の2名の理事の退任を理由とする非改選期（2024年）の新規役員選任は行わないことを本理事会において確認した。
- ・2023年度末の会員退会について

次回、2024年度第1回理事会は2024年5月連休明けに開催することとし、各役員に都合を伺い事務局が日程調整する。

以上をもって、一般社団法人日本表面処理機材工業会2023年度第7回理事会を終了したので、議長は議場にその協力を謝し閉会を宣言した。

3. 事業活動

3-1. 委員会

(1) 総務委員会

◇ 第1回 総務委員会

日時：2023年5月25日（木）15時30分～17時00分

場所：ハイブリッド 出席：6名

議題

1. 2023年度定時総会開催について（6月2日（金）アルカディア市ヶ谷）

定時総会開催概要確認 及び 定時総会 発表者 役割分担について定時総会参加不可委員を除き、参加可能委員にて役割担当を決定した。

2. その他

- ・中央製作所原委員が大阪へ転勤となり、ご後任は菅野 秀之氏となります。
- ・経営研修会は設備部会 研修会にて企画している東新工業会社の見学に合同出来ないか調整する。
表面処理団体協議会の幹事が機材工になるので、「産・官・学情報交換会」のテーマである「環境対応、SDGs、CN、労働安全衛生法」に対する各委員企業の状況を聞いた。
- ・大手自動車メーカー主導で、CNの計算式を準備しておりめっきの種類ごとに試算が可能になっている。
但、従来の性能、機能、価格での処理方法の判断に、CO₂排出量の評価が加わり、塗装やドライ（蒸着）の技術に置き換わらないとも限らないので対応は慎重に行う必要がある。
- ・SDGsについては、範囲が広く捉えにくいのでCNのような数値で議論できる項目での意見交換が良い。
- ・設備面では、例えば、ボイラーで、燃料によるCNの比較は可能である。
（軽油、重油、電気、ガスによってCO₂排出量は変わる）
- ・整流器などは、年度ごとの係数が変わるが、問い合わせや報告は頻繁にある。
- ・薬品関連では、原料そのもののCO₂係数が明確ではないので、対応には苦慮している。
- ・CN算出に当たり、電気代や燃料代を基に算出するのはブレが少なく正確であると思う。
- ・電気に関しては、価格が高騰しており、原子力の再活用が望ましい。CNの観点でも有利。
- ・労働安全衛生法では、歯科検診の対象範囲が拡大され強化の動きを感じている。

◇ 第2回 総務委員会

日時：7月20日（木）15時30分～17時00分

場所：ハイブリッド 出席：6名

議題

1. 2023年度定時総会の反省

- ・定時総会の案内5月16日、懇親会開催の案内4月19日と別々の発送となり参加者に混乱があった。

・次回は、総会の開催方法を決める理事会を4月中に開催し、4月中に一緒に発送するように調整する。
開催当日は台風2号の接近により東海道新幹線の運休もあり、懇親会の出席者は62名の予定が実績57名となった。懇親会の会場が狭かったので、来場者を事前に調整したがそれをさらに下回る結果となった。

2. 経営研修会について

見学先： 東新工業株式会社いわき四倉工場（福島県いわき市四倉町栗木作）

所用時間：東京駅からバスにて2時間30分～3時間 移動に時間を要するので、会食は実施しない。

参加費： バスあるいは電車＋バス等の移動方法を検討し参加費を決定する

開催日： 11月10日(金)あるいは11月17日(金)を候補とし理事会で決定する

3. 生産・販売統計調査検討会 開催について

◇ 第3回 総務委員会

日時：2023年9月21日（木）15時30分～17時00分

場所：ハイブリッド 出席：6名

議題：

1. 経営研修会について

- ・設備部会開催の研修会「東新工業四倉工場見学」に合流する形で開催する。
- ・開催日程は、11月17日(金) 午後訪問とし、参加者は上限40名とする。

2. 役員任期に補欠役員の任期を追加する定款改定について

任期途中に退任した役員の代わりに選任された役員の任期を他の役員と同一にする条項追加を加える。司法書士と事務局で素案を作成して総務委員会に諮る。

3. 第5回理事会後の懇親会実施について

- ・会場：アルカディア市ヶ谷大雪西（立食定員：70名）で行う。
- ・会費：8,800円/人（税込）とする。
- ・懇親会への案内は、役員および正会員、賛助会員へ行う。

◇ 第4回 総務委員会

日時：2023年11月6日（月）15時30分～17時00分

場所：ハイブリッド 出席：6名

議題：

1. 経営研修会について

2. 定款一部改定の件

3. 幹部会、理事会終了後の懇親会について

4. 三部会交流会の会場と講演候補について

◇ 第5回 総務委員会

日時：2024年1月17日（水）15時30分～17時00分

場所：ハイブリッド 出席者：委員8名

議題：

1. 役員任期に関する定款改定の件

定款第23条に下記2項を加える。

3 任期満了前に退任した理事の補欠として、又は増員により選任された理事の任期は、前任者又は他の在任理事の任期の残存期間と同一とする。

4 任期満了前に退任した監事の補欠として選任された監事の任期は、前任者の任期の残存期間と同一とする。

2. 経営研修会報告

東新工業いわき四倉工場見学には、参加者24社、41名（事務局含む）参加。

3. 三部会交流会準備状況

開催日：2024年3月15日（金）13:00～19:00（三部会、交流会、講演会、懇親会）

開催場所：アルカディア市ヶ谷

講演講師：熊王 斉子（弁護士）橋本社長から紹介

4. 2024年事業計画（案）

(1) 生産・販売統計調査の実施及び統計資料の活用（生産・流通の調査研究事業）。

統計調査結果と関連資料から表面処理資機材の動向を解析して把握し、統計資料の有効活用を図る。

(2) 経営研修会の開催（普及及び啓発事業）。

現経営者を対象に経営研修会を開催し、時代にあった経営感覚を育成する。

(3) 国および諸機関の施策の調査・普及（普及及び啓発事業）。

諸官庁及び関係機関等の施策を調査研究し、会員に制度活用を促す。

(4) 会員名簿の作成及び整備（普及及び啓発事業）。

会員名簿を作成整備し、諸官庁を初めとする調査要求に即応できる体制を構築する。

(5) 規程・規則等の見直しをはかる。

5. 新委員委嘱について

来期、総務委員会委員として奥野製薬工業代表取締役 副社長 奥野 直希氏を委嘱する。

◇ 第6回 総務委員会

日時：2024年3月6日（水）15時30分～17時00分

場所：ハイブリッド 出席：委員7名

議題：

1. 令和6年度 機材工カレンダーについて

2. SURTECH2024 実施報告

・来場者は前年比で3日間平均35%増であった。※6ホール、12展示会の合計数（JCD調べ）

機械工会員展示（通称ミニブース）はコンセプトゾーン内のスペースで全鍍連の同様の展示に隣接して7社12小間の展示を行った。コンセプトゾーン内に特設講演会場を設け3つの講演会を行った。

3. 三部会交流会について

(2) 技術委員会

◇ 第1回 技術委員会

日時：4月21日（金）15時30分～17時00分

場所：ハイブリッド 出席：8名

議題

1. 新製品・新技術講演会の開催方法について

SURTECH 事務局連絡会議にて、JCD から機材工の講演会は展示ホール内に設ける用意があるとのことであった。次回の連絡会議でJCD から具体案を聞き技術委員会にて採否の検討を行う。

2. ホームページ「情報」の改善について

情報ページにはめっき業に役立つ情報を掲載するのは当然だが、ホームページの中に関連しやすいようなリンクを貼ることが、検索数及びクリック数を増やすには良いのではないか。

（リンク先案）

・全鍍連 ・全国の鍍金工業組合へのリンク ・各組合に所属する事業所へのリンク ・日本試薬協会（SDS 検索） ・試薬・原料メーカーの SDS を検索可能

・経産省（全国鋳工業公設試験研究機関保有機器・研究者情報検索システム）

・全国の工業試験場が紹介されている ・電気めっき用語（大阪産業技術研究所）

・特許情報プラットフォーム（工業所有権情報・研修館） ・東京都鍍金工業組合（めっき関係リンク集）

3. 今年度の研修先候補

◇ 第2回 技術委員会

日時：6月22日（木）15時00分～16時00分

場所：ハイブリッド 出席：6名

議題

1. 新製品・新技術講演会の開催方法について

会場は、コンセプトゾーン内に特設されたオープンな会場で42席程度を想定する。機材工以外の講演会を開催する可能性もあり、時間配分等は今後要調整となる。会場がコンセプトゾーンに面していて、全鍍連及び機材工のミニブース展示で賑わっていることから、聴講者が例年よりはるかに多くなることが期待される。入場は、自由であるが事前登録によりある程度ではあるが聴講人数を把握することとする。登録者には優先的に席を確保するなど利便性の提供を今後検討する。

参加費用（講演費用）は従来と同じ1講演 33,000円として、10月募集開始、11月募集締切りとし8～10件の応募を目標として活動する。テキスト販売は1冊1,000円（税込）とする。広告はA4サイズ消費税込みで11,000円（税込）とする。

販売に関しては、事前登録を基本とするが、当日会場での販売可否を検討する。無線のクレジットカード決済システムが利用（レンタル等）できるか検討する。

2. 秋の研修会について

・研修会は10月18～20日を仮目標として準備する。

訪問先については、第1回委員会で候補先を洗い出したが、会員への有益な情報発信を行うことに重点を置き、地理的な利便性も考慮して、“地方独立行政法人東京都産業技術研究センター”とする。

◇ 第3回 技術委員会

日時：2023年8月24日（木）15時00分～16時00分

場所：ハイブリッド 出席者：6名

議題：

1. 新製品・新技術講演会の開催方法について

会場は、コンセプトゾーンに隣接するオープンな会場（70席）を使用する。講演の参加費は従来と同じ1講演 33,000円とする。テキストへ広告を掲載する場合1頁（A4サイズ）11,000円とする。

聴講の費用は無料とする。テキストを1冊1,000円で販売する。印刷部数を把握するために事前予約制とするが、当日会場での販売も行う。講演は対面のみで行いオンライン配信は行わない。

講演会場費用として、JCD（JTBコミュニケーションデザイン）の一次見積では、690千円（3日間）が提示されたが、別途レンタル先を探索するなどして前回並みに費用を抑制する。

2. 秋の研修会について

研修会は10月20日（金）14時～16時に（地独）東京都立産業技術研究センター（住所：東京都江東区青海2-4-10）を訪問し研究成果の聴講と研究装置の見学により行う。

◇ 第4回 技術委員会

日時：2023年11月10日（金）15時00分～17時00分

場所：ハイブリッド 出席：6名

議題：

1. 秋の研修会開催結果について

参加者：9名（技術委員会3名、青年会3名、事務局1名） 見学内容を機材工誌に掲載する。

2. 新製品・新技術講演会の応募状況について

11月6日現在で発表件数の応募が少なかったため、発表件数増対策を理事会にて働き掛ける。

3. 技術手帳の記載事項見直しについて

◇ 第5回 技術委員会

日時：2024年1月17日（水）14時00分～15時30分

場所：ハイブリッド 出席：委員7名

議題：

1. 新製品・新技術講演会の役割分担について

2. アンケートについて

紙に印刷して配布する

3. 2024年度事業計画（案）

(1) 表面処理関連技術の調査・研究（技術の調査・研究事業）

表面処理技術及び関連技術について、将来のニーズに関する技術を調査・研究すると共に、会員が開発した新技術を調査して表面処理市場への普及を図る。

技術調査の為研究機関への視察見学を行う。

(2) 技術講演会の開催（普及及び啓発事業）

表面処理資機材の新技術開発及び普及を図るために技術講演会を年1回以上開催する。

(3) 表面処理資機材の安全対策（技術の調査・研究事業）

表面処理資機材製造及び表面処理加工における作業者の安全に資するため調査・研究を行い、関連事業者へ化学物質や表面処理設備等の自主管理を促す。併せてPL法に関連して表面処理装置機器への警告表示と警告マークの仕様説明書への明記の徹底を促すとともに、装置・機器用警告ラベル

の製作販売を随時行う。

◇ 第6回 技術委員会

日時：2024年2月28日（水）15時30分～17時00分

場所：ハイブリッド 出席：委員4名

議題：

1. 2024年 新製品・新技術講演会の振り返り

(1) 聴講者数 21名

聴講者がここ数年減少傾向である。原因を解析して対策をたてる。

(2) アンケート

- ・全般的な印象 ・スタッフの対応 ・会場の広さ、設備 ・オープンな会場はどうか
- ・講演は聴き易かったか ・参加はし易かったか ・今後の講演希望について
- ・この企画をなんでお知りになりましたか ・次回も参加したいか
- ・受講されたあなたについてお書きください

(3) 収支について

2. 2025年の新製品・新技術講演会について

次回委員会で講演会の実施方針をイメージアップすることとする。

(3) 環境対策委員会

◇ 第1回 環境対策委員会

日時：5月26日（金）13時30分～14時45分

場所：ハイブリッド 出席：8名

議題

1. 環境セミナーの実施方法について

- ・特設会場は、仕切りの無いオープンスペースで有料の講演会には向かないという意見もあったが、むしろ展示会に来られた方に興味を持ってもらい集客の効果も期待できるとの意見が大勢であった。
- ・会場外から無料で聞くことも可能であるので、聴講は無料としてテキスト販売（3,000円程度）を行うこととする。事前申込した方には、席の優先確保をするなど便宜をはかる意見もあった。
- ・日程は2024年2月1日（木）とする。（SURTECH2024の第2日）
- ・集客を増やすアイデアとしては、排水処理の教科書的な講演だけでなく、より実践的な課題解決に資するため、Q&Aコーナーを作ってはどうかとの意見もあった。
- ・次回7月の委員会で実施案について検討する。

2. 瀬戸内規制の事前協議

3. その他

3-1. 6価クロムの排水基準値の見直しについて

<出典：環境省ホームページ>

6価クロムの環境基準値は0.02mg/Lとなっているが、排水基準値は0.5mg/Lで運用されている。一般的な排水基準の設定と同様に、環境基準値の10倍とする案が検討されている。電気めっき業から要望があり、暫定排水基準の設定可否も検討される。

<検討スケジュール>

2～3月：報告案の検討、3～4月：パブリックコメントの実施、4～5月：報告のとりまとめ

5月頃：中央環境審議会水環境・土壌農薬部会における見直し案の審議及び同審議会からの答申
秋頃まで：関係省令等の改正・公布、翌4月頃：改正省令等の施行

3-2. 技術手帳の記載事項の改訂に関して

3-3. 表団協における産官学情報交換会のテーマ

水洗水のリサイクルに関する検討状況についてヒアリングした。

3-4. 木内委員交替

関連会社へ異動するので、次回委員会では委員を交替する。

◇ 第2回 環境対策委員会

日時：7月14日（金）13時30分～14時30分

場 所：ハイブリッド 出 席：7名

議 題

1. 2024年環境セミナーの実施方法について

日 程 2024年2月1日(木) 13時～17時

会 場 東京ビッグサイト東3ホールコンセプトゾーン内セミナーコーナー (仮名称)

方 法 会場講演 (リモート講演無し) ; オンライン配信無し

聴講無料 ; テキスト有料 3,000円 (標準仕様指針、講演テキスト)

講演題目

- (1) 環境に優しい製品 (全部で4件程度) 20分/件
環境に優しい薬品 (薬品部会に聞く ; 8月17日)
環境に優しい設備 (設備部会に聞く ; 8月4日)
- (2) 排水処理技術 (解説)
亜鉛の排水処理、フッ素・ホウ素の排水処理、窒素の排水処理
- (3) 排水処理の Q&A
事前申込時にアンケートを受付して、当日お答えする。
事前 Q の回答担当者を決めて当日答える。Q の締切りは、1月24日とする (1週間前)
- (4) 海外排出規制動向

集 客 サーテック公式ちらし (案内状)、機材工ホームページ

全鍍連経由各地めっき工業会への依頼、機材工誌 (2023年10月号、2024年1月号)

費 用 プロジェクター、スクリーン、音響 (マイク、アンプ、スピーカー)、演台等

サーテック事務局 (JCD) 経由で見積もり依頼中

◇ 第3回 環境対策委員会

日 時：2023年9月22日 (金) 13時30分 ~ 15時00分

場 所：ハイブリッド 出 席：6名

議 題：

1. 2024年環境セミナーの実施方法について

(1) プログラム

1. 環境に優しい設備と薬品

- 1-1. カーボンニュートラル対応の高効率電源 株式会社 三社電機製作所 山田 耕三
- 1-2. 各種めっき液のノンシアン化への取り組み 大和化成株式会社 山内 裕亮
- 1-3. PFAS 規制に対応したコンポジットめっき (仮) 日本化学産業株式会社 三嶋 恵太
- 1-4. PTFE 代替として NPC めっきについてご紹介 (仮) 株式会社 ムラタ 倉田 良知

2. 排水処理の実務について

- 2-1. 亜鉛の排水処理 日本フィルター株式会社 宮川 貴宏
- 2-2. フッ素・ホウ素の排水処理 日本ワコン株式会社 清水 健
- 2-3. 窒素の排水処理 中川化学装置株式会社 倉持 貴之

3. 排水処理の Q&A 宮川 貴宏、清水 健、倉持 貴之

4. 海外排出規制動向 クボタ環境エンジニアリング株式会社 未定

(2) 予算及び実績見込み

(3) スケジュール

2. 2025年版 技術手帳の見直しについて

環境対策委員会の担当項目につき改訂の必要な項目は無いので改訂は行わない。

◇ 第4回 環境対策委員会

日 時：2023年12月14日 (木) 15時00分 ~ 16時30分

場 所：ハイブリッド 出 席：6名

議 題：

1. 2024年 環境セミナーのプログラム、実施要領及び役割分担について

- ・プログラム内容は前回決定と変更なしたが、開会時間と、閉会時間を調整した。
- ・テキスト販売数の予約受付は取りやめる。
- ・排水処理の Q&A は、1月24日(水) を Q の公募締め切りとし、1月25日(木) 15時に委員が集まり、Q に対する回答方法を決める。

- ・アンケートはアンケート用紙を配布して記入する形式で行う。
 - ・当日の役割分担を決定。
2. 表団協産官学情報交換会（11月16日）の発表内容について
- ・機材工は、「環境」に関するアンケート調査及び有害物質削減の実績について報告した。
 - ・アンケートでは、規制情報を早目に伝えること、代替物質への検討のための資金支援が要望されたので、経済産業省に伝えた。
 - ・全鍍連からは、めっき排水の一般排水基準達成が困難な物質として、ほう素・ふっ素・亜鉛の状況について報告された。（亜鉛について別途全鍍連から協力要請がある）
 - ・情報交換会に提出された、全鍍連の資料の要求があったので、委員会限の条件でお渡しする。
3. 全鍍連から亜鉛の一般排水基準達成に向けた協力要請について
- ・前項と関連して、脱脂剤等の薬品中のキレート剤（特にEDTA）が、亜鉛の凝集沈殿を阻害することにより、排水基準を達成できないことがあるとの認識が示され、薬品からのキレート剤の削減に関する協力要請が非公式にされた。
 - ・事務局としては、基準を達成できていないめっき加工業者とその薬品納入業者で、達成できない理由を確認して、協力して検討すべきと全鍍連にお話しした。
 - ・協力要請の内容について、機材工の薬品部会メンバーに伝えた。
4. 2024年度事業計画（案）
- 2023年度と同様の内容とすることに決定した。
- (1) 新環境基準項目に伴う排水規制への対応（環境保全のための技術調査及び普及事業）
3物質（フッ素、ホウ素、窒素）及び亜鉛の規制などに対応するための技術の調査。
 - (2) 水と資源のリサイクル化に関する技術の調査・研究（環境保全のための技術調査及び普及事業）
水のリサイクル技術などを調査し、表面処理資機材業界への普及を図る。
 - (3) 環境や法規制等に関するテーマにて表面処理業界への広報活動（環境保全のための技術調査及び普及啓発事業）

◇ 第5回 環境対策委員会

日時：2024年2月15日(水) 15時00分～17時00分

場所：ハイブリッド 出席：委員7名

議題：

1. 2024年 環境セミナーの振り返り

(1)聴講者数 42名（アンケート数）

(2)アンケート

下記項目についてアンケートをとった。

・会場・場所 ・費用 ・講演内容 ・講演時間 ・講演内容 ・難易度 ・次回講演の内容に何をお望みですか ・この企画を何で知りましたか ・受講された方について

(3)テキスト販売

テキスト販売収入 66,000円／22冊販売、 支出 29,610円／テキスト70冊印刷費用

販売価格 3,000円（内訳：めっき排水処理施設の標準仕様指針 2,200円、テキスト 800円）

(4)委員の振り返り、印象

2. 2025年 環境セミナーの概要について

方針：水環境にやさしい設備（持ち出しの少ない）、薬品と排水処理の基礎・実務、作業環境（安全衛生）、論文などでSDGsとか環境に関して書かれている人に講演してもらう

会場：会議棟は使用可能。展示会隣接会場に関してはサーテック事務局に費用を打診中。

日時：1月29日(水)～31日(金)の第2日に実施する

参加費：費用は少なめの方向で検討する。オンライン配信はやりたいが、他の講演の状況を見て考える。オンライン配信の場合は事前に宣伝を十分行って集客する。

講演内容：開催内容について各委員が次回までに案を検討して持ち寄る。

(4) 国際委員会

◇ 第1回 国際委員会

日時：4月6日(木) 13時30分～15時30分

場 所：Web 会議 出 席：4 名
議 題

1. 2023 年度事業計画 海外視察について

- ・理事会での海外視察についての反応や意見に関して台湾について否定的な意見はなかった。
- ・視察訪問先によって参加・不参加が決まる。例えば TSMC が見学可能であれば参加したい。
- ・次回委員会にて視察先の情報を持ち寄り、視察計画を固めてゆく。

◇ 第 2 回 国際委員会

日 時：4 月 24 日（月）16 時 00 分 ～ 16 時 50 分

場 所：Web 会議 出 席：5 名

議 題

1. 2023 年度事業計画 海外視察について

- ・旅行代理店視察先案の検討（JTB、トヨタツーリスト、近畿日本ツーリスト）
- ・各社の提案内容について、より具体的な内容をお聞きする為、遠藤委員長から各社の担当者へ連絡をとる事となった。

(5) 情報委員会

◇ 第 1 回 情報委員会

日 時：6 月 13 日（火）15 時 00 分 ～ 17 時 00 分

場 所：ハイブリッド 出 席：6 名

議 題

1. 機材工誌秋季号（168 号）準備

- ・秋季号表紙の写真：「野坂専務理事」 ・巻頭言：「中川副会長」 ・寄稿：眞田先生、眞保先生、安谷屋先生、梅田教授、竹内会長 ・トラブルシューティング（タイホーへ） ・委員長対談「機材工と全鍍連の会長対談」168 号掲載予定、次候補（169 号）橋沢憲一社長 ・会員企業紹介：正会員奥野製薬工業、正会員化興、特別賛助全鍍連、普通賛助広栄化学工業 4 社 ・お知らせ：事務局
- ・表紙の解説：「野坂専務理事」、 ・一般広告：掲載なし ・編集者後記：「紺野委員予定」

2. その他 情報交換

SURTECH2024 ブース運営の方針など（2024.01.31.～02.02.）

- ・全鍍連と同様に機材工会員へミニブース展示募集を予備調査実施。会員へ正式な募集要項を作成し夏季号に掲載する。10 社、15 コマを目標とする。併せて一般ブース公募も掲載。
- ・表団協運営幹事団体となり、運営委員会、産官学情報交換会などの企画運営にあたる。「産官学情報交換会」にむけ機材工内の意見調査のためキーワードを SDGs、カーボンニュートラル、環境への各社取組をアンケート調査する。また、各社でこれらの課題に向けた製品があれば具体的に名称も記載頂く。

◇ 第 2 回 情報委員会

日 時：2023 年 8 月 28 日（月）15 時 30 分 ～ 17 時 00 分

場 所：ハイブリッド 出 席：7 名

議 題

1. 機材工冬季号（169 号）準備

表紙の写真：望月事務局長、巻頭言：後藤会長、経産省金属課長、表協会長、全鍍連会長、寄稿：眞田先生「世界情勢と経済関連」、眞保先生「題目未定」、奥野製薬工業「トラブルシューティング」、2024 年度春季号以降のご寄稿依頼予定は、酒井先生、IHI ボイラー関連の方、高井まどか先生 委員長対談：橋沢 憲一社長、会員企業紹介：正会員河口・サポート、川端鐵工、特別賛助西村ケミテック、普通賛助小西安 4 社、お知らせ：事務局、一般広告と新年賀詞広告、編集者後記：野坂オブザーバー

2. 機材工手帳 2024 年度版受注状況 8/28.現在（8/31 締切）

3. その他 情報交換

表面技術要素展（SURTECH）2024 ブース運営の方針

- ・機材工会員へのミニブース展示を募集。10 社 15 小間を目標 8/28 現在 5 社 8 小間の申込実績。

◇ 第 3 回 情報委員会

日 時：2023年11月6日（月）15時30分～17時00分

場 所：ハイブリッド 出 席：6名

議 題：

1. 機材工誌春季号（170号）記事検討

表紙の写真：橋本常任理事、巻頭言：柳澤 英二常任理事、寄稿：眞田先生、眞保先生、酒井先生、高井先生、渡辺秀人氏（小島化学薬品）、トラブルシューティング：中央化学（予定）、委員長対談：大和化成 平田社長、三社電機 吉村社長、東海化工機 石川社長で調整。会員企業紹介：正会員キザイ、正会員木田精工、

特別賛助日本エンバイロ工業、普通賛助コンドウ、お知らせ：事務局、表紙の解説：橋本常任理事、編集後記：大久保オブザーバー

2. SURTECH2024 準備について

- ・機材工会員へのミニブース展示の配置を抽選で決める。担当者へ案内する。
- ・機材工ブース展示パネルの選定

◇ 第4回 情報委員会

日 時：2024年1月18日（木）15時30分～17時00分

場 所：ハイブリッド 出 席：7名

議 題

1. 機材工誌 2024年夏季号（171号）の掲載記事について

表紙の写真：次回検討、巻頭言：後藤会長、寄稿：眞田先生、眞保先生、酒井先生、吉田敏明氏、高井まどか先生、渡辺秀人氏へ依頼、トラブルシューティング：テクニクジャパン、薬品以外の設備、環境などへも寄稿の幅を広げ原稿収集を実施、委員長対談、全鍍連青年会との対談（検討）、表団協代表者との対談（検討）、会員企業紹介：正会員共和機器製作所、正会員金属化工技術研究所、特別賛助フィッシャー・インストルメンツ、普通賛助島谷技研、お知らせ：事務局、表紙の解説：次回検討、名刺広告：夏季号募集、編集者後記：山本委員長

2. SURTECH2024 の準備

機材工ブース（7小間）の展示パネル選定として、SDGs 5枚（5小間）、機材工紹介ビデオのモニター展示（1小間）、めっきの用途と特徴を示した2小パネル（1小間）を展示する。

機材工会員出展ブース情報と講演会の案内を掲載したパンフレットを1,000部作成したので、各日程の午前中を中心に配布する。

3. 2024年度事業計画（案）

(1) 機関誌の発行（普及及び啓発事業）

工業会の事業活動内容に加え、関連技術及び環境問題に係わる情報やタイムリーな話題を掲載して内容の充実を図り、年4回発行する。（1月、4月、7月、10月）

(2) 国内外の展示会事業への参画と運営への協力（普及事業及び啓発事業）

SURTECH 2024の後援団体として展示会活動に積極的に協力する。

(3) 表面処理資機材普及事業の実施（普及及び啓発事業）

2025年度版技術手帳を発行する。

表面処理業界に技術、環境や排水処理・土壌汚染に関する広報活動を行う。

(4) ホームページの管理と運営（普及及び啓発事業）

ホームページの刷新を図るため内容の見直しをし、随時新しい内容への改良の推進。

4. 新委員委嘱について

来期、情報委員会委員として奥野製薬工業代表取締役 副社長 奥野 直希氏、中川化学装置常務取締役 中川孟氏に委嘱する。

◇ 第5回 情報委員会

日 時：2024年3月14日（木）15時30分～17時00分

場 所：ハイブリッド 出 席：7名

議 題：

1. 機材工 夏季号の記事準備

2. SURTECH2024 実施報告

総務委員会と同内容なので省略

(6) 青年会

◇ 第1回 青年会

日時：2023年7月6日（木）13時10分～14時30分

場所：ハイブリッド会議 出席：6名

議題：

1. なぜなぜ講演会第17弾の実施について

- ・参加費は無料でテキスト販売（暫定2,000円）をする。
- ・聴講者は流動的で出入りが多くなると考えられるので、講演時間20分+各講演間の準備時間5分と短くして講演数を5～6講演とする。全体の時間は13時～15時30分で予定する。
- ・12月に講演会の内容公開とテキストの予約申込を開始する。テキストは当日販売も行うので印刷数は予約状況から推計する。
- ・聴講者の整理等で人手を取られるので、デリケートな調整を要するWeb配信は行わない。

上記のような内容で実施することに関して青年会の出席者からは、なぜなぜ講演会の本来の実施形態とは異なるものの、SURTECHの集客を盛り上げるために他の講演会と共に期間中にセミナーコーナーで実施することが了承された。講演者は橋沢代表が候補者を選定し、8月末を目処に打診することとなった。

2. 秋の研修会

橋沢代表から、研修会は日帰りで懇親会を東京で実施する方針が表明され了承された。訪問先は、株式会社ワールドケミカル筑波工場を予定している。実施時期は、機材工の他の事業と調整して決める。

◇ 第2回 青年会

日時：2024年1月23日（火）15時00分～16時30分

場所：Web会議 出席：委員（会員）7名

議題：

1. なぜなぜ講演会第17弾について

- ・当日の役割分担決定

2. アンケートについて

- ・例年の内容で作成して印刷してテキストと一緒にお渡しし、開封箱に回収する。

3. 2024年度事業計画（案）

(1) 研修会の開催（普及及び啓発事業）

青年会を中心に若手会員による研修会を1回以上開催し、次世代経営情報や人材育成の推進を図る。

(2) 講演会の開催（普及及び啓発事業）

やさしい技術解説を中心とした講演会（なぜなぜシリーズ）を東京含め2回程度実施。東京会場は表面技術要素展（SURTECH 2025）開催期間とする。

4. 新委員委嘱及び委員退任について

- ・青木眞彩美氏 本人から退会の申し出があり了承された。
- ・中川昇氏から中川孟氏の退会の申し出があり了承された。
- ・奥野直希氏 会員入会の件が了承された。橋沢代表名で委嘱状を作成して事務局より送付する。

3-2. 部会

(1) 設備部会（設備部会 会長 野坂 秀夫）

◇ 販売統計調査

6月7日（火） 調査票配布 2022月年4月～2023年3月末の販売実績
部会員27社中18社の回答（66.6%）

7月28日（金） 統計調査担当者分析検討会 webで実施

8月4日（金） 設備部会で中間報告

9月21日（木） 統計調査委員会（三部会の統計担当者と総務委員で構成）で発表と情報交換

10月発行の機材工誌秋季号にて発表

◇ 部会

8月4日(金) 16:00～19:00 京王プラザホテルにて17名出席

1. 統計調査集計中間報告
2. 秋季研修について 11月17日(金)東新工業株式会社 四倉工場様見学を予定
3. 各自近況報告

11月17日(金) 秋季研修(機材工経営研修会を兼ねる)

東新工業株式会社 四倉工場様見学 41名参加(内設備部会員17名)

2024年3月15日(金) 13:00～14:20 アルカディア市ヶ谷にて10名出席

1. 今年度部会活動報告
2. 表面処理団体協議会(表団協)主催の産官学情報交換会実施報告
3. 秋季研修報告(東新工業株式会社四倉工場様)
4. SURTEC2024開催報告
5. 次年度事業内容検討
6. 各自近況報告(3分間スピーチ)
7. 部会終了後三部会交流会を幹事部会として主催

◇ その他

生産性向上要件 証明発行団体として5名にて認証に協力

(2) 薬品部会(薬品部会 会長 遠藤 憲雄)

◇ 薬品統計調査分科会(参加者7名)

日時: 2023年7月19日(火)

場所: 機材工 4F 会議室にて、集計と結果内容の検討

*表面処理関連薬品生産(販売)量調査表を会員企業29社に発送した。

*調査協力会員企業数 21社/29社より回答。

*21社の回答をもとに、令和4年度(2022年度)の薬品生産量、原料使用量、原料価格について集計作業と結果内容の検討を行った。

*8月17日、薬品部会で報告と情報交換。

◇ 薬品部会(夏の例会)

日時: 2023年8月17日(土)

場所: アルカディア市ヶ谷(私学会館)

4年ぶりに夏の開催

議題

- (1) 令和4年度薬品生産動態集計結果
- (2) 同部会収支決算報告
- (3) 各委員会報告
- (4) 各社各人情報交換会

◇ 薬品部会(三部会交流会)

日時: 2023年3月10日(金)

場所: アルカディア市ヶ谷(私学会館)

※薬品部会交流会 6F 霧島(東) 7社 9名の参加

- (1) 山口副部長より、各委員会の状況報告
- (2) 各会員の寄各社、各人の近況報告

※三部会交流会(4F 鳳 凰)

※三部会講演会(4F 鳳 凰)

「弁護士のトリセツ(取扱説明書)」～弁護士は見た!～

講師: 島村法律会計事務所 弁護士/公認不正検査士 熊王 斉子

※三部会懇親会(6F 霧島) 8社、13名の参加

(3) 環境部会 (環境部会 会長 中川 武)

◇ 設備納入実績調査

- 7月5日 調査表配布 ・期間：2022年4月～2023年3月 ・回答：7社/環境部会9社
8月25日 調査分科会による集約と分析
9月6日 例会にて調査担当者からの報告と分析と共有
9月21日 統計調査委員会にて報告と情報交換

◇ 環境部会 第1回例会 (参加者5名)

日時：2023年9月6日(水)

場所：機材工会議室

議題

1. 2022年度環境設備納入実績調査の結果と分析の共有
2. 理事会および環境対策委員会の報告
3. 出席各社の近況報告

◇ 環境部会 第2回例会 (参加者6名)

日時：2024年3月15日(金)

場所：アルカディア市ヶ谷

議題

1. 2023年度活動報告および収支概算報告
2. 2024年度事業計画および予算案の確認
3. 理事会および環境対策委員会の報告
4. SURTECH 2024の報告と共有(出展協力ほか)
5. 出席各社の近況報告

3-3. その他 機材工行事

◇ 経営研修会

日時：2023年11月17日(金) 13時00分～16時00分

場所：東新工業株式会社 いわき四倉工場

出席：機材工会員41名

内容：

- ・開会挨拶 東新工業株式会社 代表取締役社長 山崎慎介
- ・株式会社 野坂電機(株)社長 野坂秀夫
- ・会社紹介 東新工業株式会社 加藤育洋
- ・工場見学
フロアー1 車載品用めっきライン Ni + Au + Sn + (リフロー)、3台×2ライン
フロアー2 Au ストライプめっきライン 3台×3ライン
フロアー3 Au スポットめっきライン 3台×4ライン
フロアー4 L処理ライン 6台×1ライン、成形品めっきライン 2台×2ライン
フロアー5 処理 227 t/日、排水 128 t/日、
- ・排水処理 ・製品倉庫 ・質疑応答
- ・講評 株式会社中央製作所 代表取締役社長 後藤 邦之

◇ 表面技術要素展 SURTECH 2024

日時：2024年1月31日(水)～2日(金)

場所：東京ビックサイト 東3ホール

内容：

- ・一般展示ブース

奥野製薬工業(株)、(株)シミズ、伸栄化学産業(株)、(株)電測、日本フィルター(株)、(株)山本鍍金試験器… (正会員)

(株)フィッシャー・インストルメンツ… (特別賛助会員)

日本パーカライジング(株)… (普通賛助会員)

・機材工会員出展ブース

(株)化興、(株)三進製作所、(株)タイホー、(株)中川製作所、日本フィルター(株)、(株)野坂電機、(株)ワールドケミカル… (正会員)

・機材工展示 ～SDGs を表面処理で実現する～

薬品部会「有害物質の削減」「エネルギー削減」「剥離技術」

設備部会「生産性の向上」 環境部会「省エネルギー達成へ」

機材工紹介のモニターによる展示

・講演会

○技術委員会主催

～聞いて良かった 知って得した～ 表面処理新製品・新技術発表講演会

2024年1月31日(水) 東3ホール機材工講演会場 受講者：21名

○環境対策委員会主催

環境セミナー「環境にやさしい設備と薬品・排水処理技術の実務・排水処理の Q&A・海外環境規制」

2024年2月1日(木) 東3ホール機材工講演会場 受講者：40名

○青年会主催

今さら聞けない!! めっきの基礎・装置の基礎 ～なぜなぜシリーズ第17弾～

2024年2月2日(金) 東3ホール機材工講演会場 受講者：42名

・来場者

	SURTECH2024	SURTECH2023
第1日	12,605名	8,653名
第2日	13,793名	10,750名
第3日	15,636名	11,734名
合計	42,034名	31,137名

※同時開催展を含む

◇ 三部会交流会

日時：2024年3月15日(金) 13時00分～19時00分

場所：アルカディア市ヶ谷

内容：・部会毎の例会(設備部会、薬品部会、環境部会)

・3部会合同部会

・講演会(38名)

演題「弁護士のトリセツ(取扱説明書)」～弁護士は見た!～

講師 熊王斉子 島村法律会計事務所(弁護士/公認不正検査士)

・懇親会(37名)

3-4. 国内関連団体との交流

1. 東京都鍍金工業組合

令和6年新年賀詞交歓会(2024年1月29日)

山本副会長出席

2. 愛知県鍍金工業組合

令和5年度通常総会(2023年5月11日)

後藤会長出席

令和6年新年賀詞交歓会(2024年1月12日)

後藤会長出席

3. 名鍍会

- 令和6年定時総会（2023年1月20日） 後藤会長出席
4. 大阪府鍍金材料商業組合
新年賀詞交歓会（2023年1月9日） 後藤会長出席
5. 全国鍍金工業組合連合会（全鍍連）
懇親会（2023年5月30日） 後藤会長、野坂専務理事出席
創立75周年記念式典・第61回全国大会（2023年11月22日） 後藤会長、野坂専務理事出席
新春賀詞交歓会（2024年1月26日） 後藤会長、野坂専務理事出席
6. 日本鍍金材料協同組合
新年会（2024年1月9日） 山本副会長出席
7. 表面技術要素展 SURTECH 2024
2024年1月31日～2月2日 東京ビッグサイト東3ホール
8. 表面処理団体協議会（表団協）《幹事団体：機材工》
第39回代表者会議（2023年8月4日）
第21回産官学合同会議（2023年11月16日）
「経済産業省におけるGXの取組動向」 経済産業省環境政策課／永井健寛、増野圭輔
「めっき事業所の抱える環境規制強化への取り組み」 全国鍍金工業組合連合会／飯野恭朗
「環境対応としてのファインバブルの適用」 表面技術協会／田代雄彦
「カーボンニュートラル、境対応への取り組み」 日本表面処理機材工業会／望月一雄
第19回表団協セミナー（2024年2月2日）
「自動車パワートレイン技術と求められる技術—Game Changer となる生産技術」
日産自動車株式会社／塩飽 紀之
「自動車のライフサイクルアセスメント（LCA）方法について—ゼロエミッション化を目指すトラックのLCA—」 関東学院大学人間共生学部／佐野慶一郎
「表面処理におけるカーボンニュートラルの取り組み」 株式会社アイシン／加藤 誠喜
9. 祝賀行事 なし